巻 頭 言



会長 大 西 英 之

今も世界は混沌とし続けている。2022 年 2 月突然ロシアがウクライナに侵攻し、今も戦闘が続いている。2023 年 10 月イスラエルがガザに侵攻した。2026 年 3 月イスラエルとアメリカはイラン本土を爆撃し、最高指導者のホメイニ師初め多くの幹部指導者を殺害した。それに反撃する形でイランはイスラエル本土を初めペルシャ湾岸地域をロケット弾で攻撃した。更にホルムズ海峡を閉鎖し、石油初めとする世界の貿易路を閉鎖している。そのため世界中で物価が高騰し経済的に大混乱が起こっている。ロシアのプーチン大統領、アメリカのトランプ大統領、中国の習近平主席、それぞれの大国を率いる一個人の独裁が世界を渾沌化させている。我々が戦後学んできた正義、法の支配に基づく自由と平等、開かれた道、機会均等、道徳や倫理観、その結果として得られる平和が崩壊しようとしている。今後どの様に解決されるのか、道筋は見えてこない。ただただ見守っているしかないのか(2026 年 4 月 22 日現在)。世界の行方が心配でならない。

今年も 4 月になり新入職員 49 名が入職した。若者があふれることで病院も活気が出てきて嬉しく思っている。ただ一昨年、昨年と続き今年も多くの職員が入職したのでこれら新人が早く一人前となり、さらに中堅として病院を支える人材に育って欲しいと念願している。そのためには卒後教育がとても重要だと思う。看護部ではビデオを活用した卒後教育システムが充実しているが、そうでない部署もあるので今年は病院をあげて取り組んでいきたいと思っている。また、各分野での専門資格取得奨励もおこなって来たがまだまだ十分とは言えず、これも制度化したい。

今年の診療報酬改正は本体部分で+3.09%のプラス改正となった。30 年ぶりの高水準の改正で、この部分を職員に還元できることはとても嬉しく思っている。ただ物価上昇は3%以上となっており病院の経営はまだまだ厳しい状況下にある。すでに、昔ながらのどんぶり勘定の病院経営では成り立たなくなっている時代に突入している。昨年から部門別損益計算を試みてきたが、正解はなくもっともっと精度を上げて各部門に還元したいと思っている。稲盛式アメーバ経営の手法を病院に応用して一人一人の職員が主役となり全員参加型の組織にしたいと思っている。病院の存在目的は、当たり前のことではあるが、地域のそして日本の人々の健康と生命を守ることである。その為には医師や看護師など直接医療に関わる人たちのみならず病院に勤務する全ての人たちも間接的に関わっているので、職員個々人が医療に携わっているという自覚と責任を感じてもらい、最強の組織体となっていくことを念願している。

(2026年春　会長室にて)